インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 38 週（ 2026/9/14～9/20 ）感染症発生動向調査速報値（ 2026/9/25 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **517** 人、定点医療機関当たり **10.77** 人

※急性呼吸器感染症定点（旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科19定点）

図1. 患者報告数の推移（富山県）

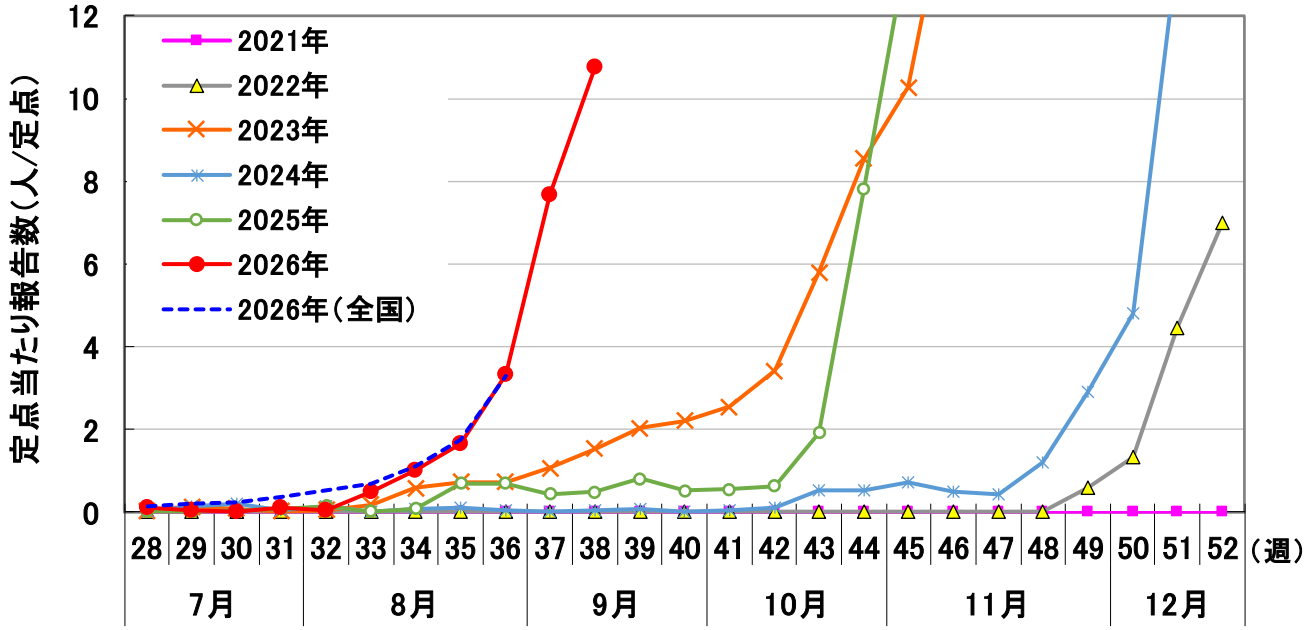
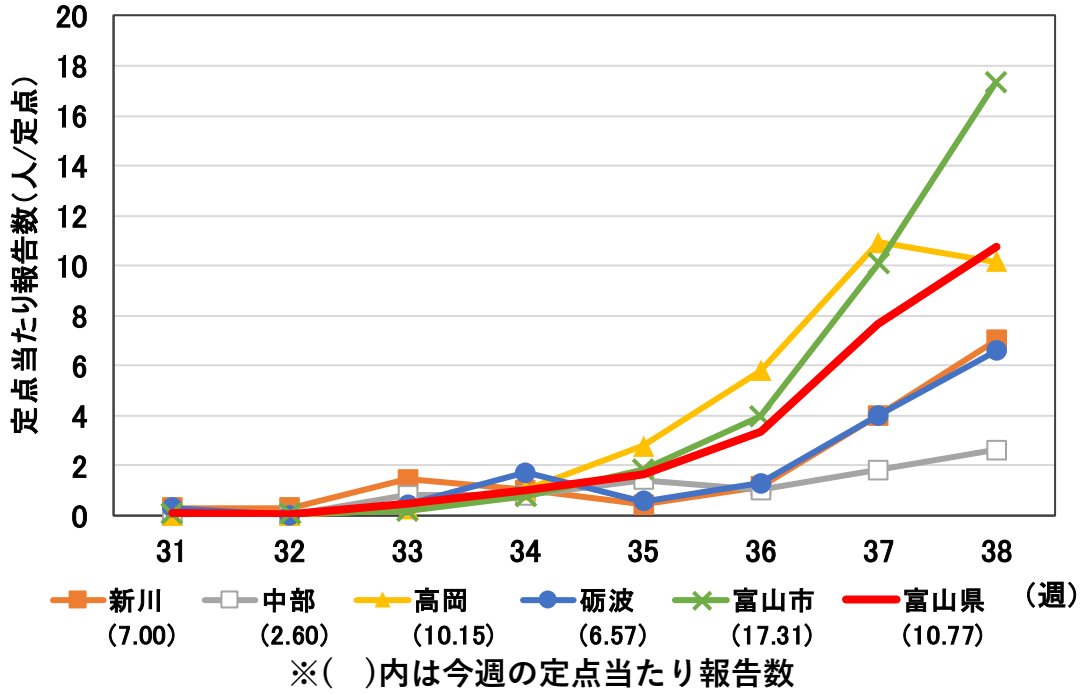


図2. 厚生センター・保健所管内別患者報告数の推移



- 富山県の患者報告数は今週10.77人/定点となり、先週（7.67）から増加した。
  注意報レベル開始基準の10.0人/定点を超えた（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、高岡管内を除くすべての管内で先週から増加した。
  高岡、富山市管内では、注意報開始基準の10.0人/定点を超えている（図2）。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

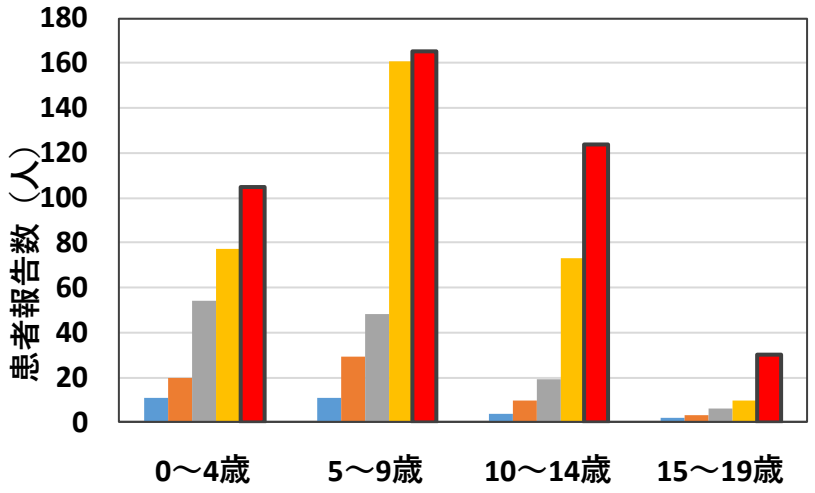
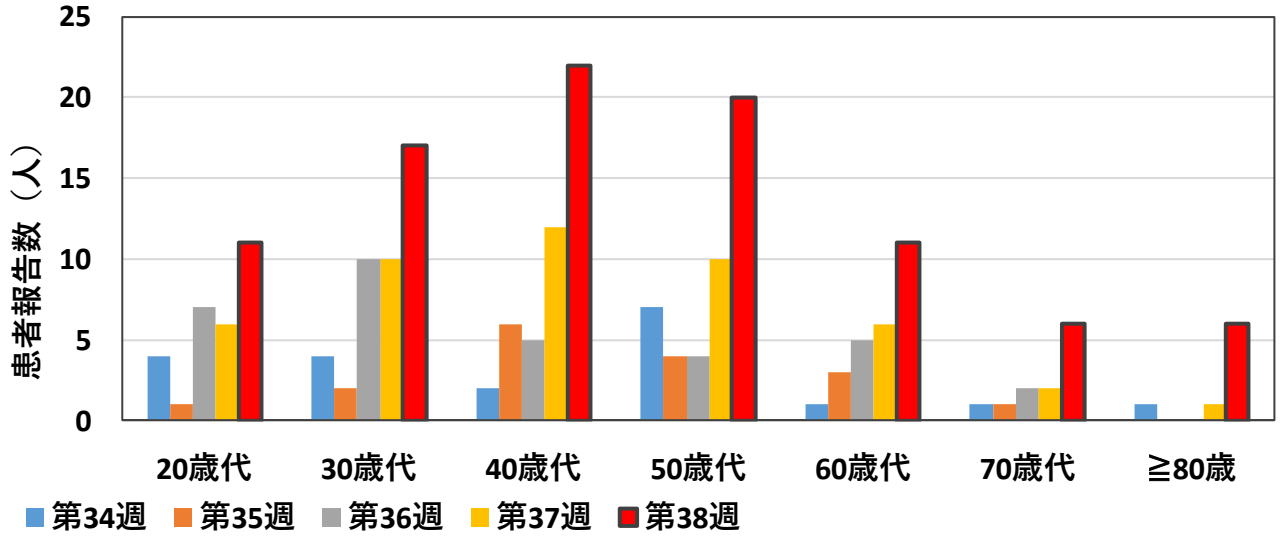


図3-2. ≧20歳



- すべての年代で先週から増加した。

※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況（第37週）

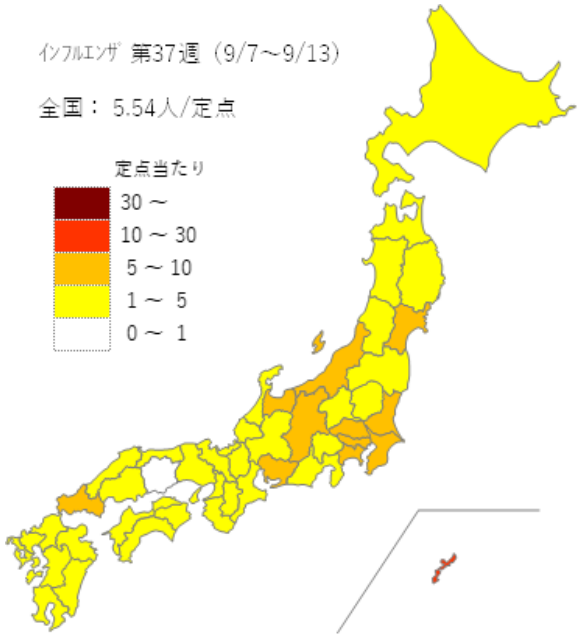


図5. インフルエンザ入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

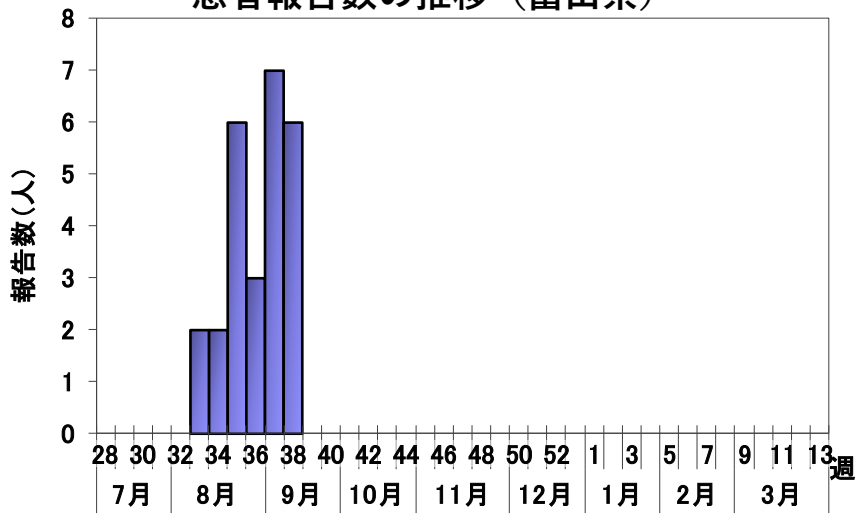
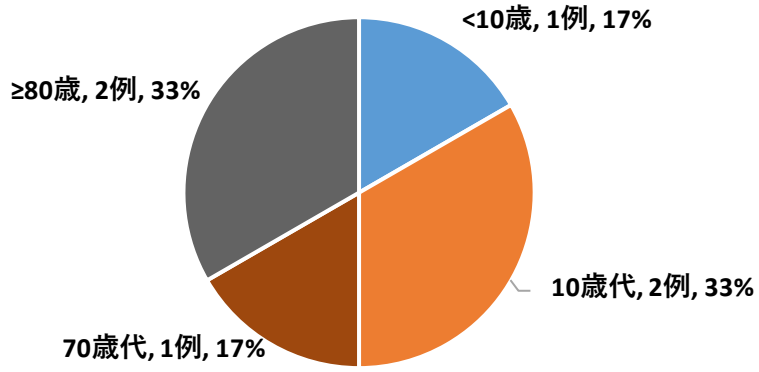


図6. インフルエンザ入院サーベイランス
年代分布（第38週、6例）



- 全国では第37週に5.54人/定点となり、第36週（3.29）から増加した。
  都道府県別にみると、46都道府県で流行入りの目安である1.0人/定点を超えている（図4）。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週6例の報告があり、先週（7例）から減少した（図5）。
- 入院患者の年代は、10歳未満、70歳代が各1例、10歳代、80歳以上が各2例であった（図6）。
- 県内の患者報告数は先週に引き続き増加し、今週、注意報レベル開始基準である10.0人/定点を超えた。
  特に15歳未満の患者報告が多いこと、学級閉鎖等の報告もあることから（富山県インフルエンザ関連情報）、学校等での感染や成人への感染拡大が懸念され、今後の発生動向を注視する必要がある。